

# 2020年度（2021年3月期） 通期決算説明会

---

**シチズン時計株式会社**

2021年5月13日

本プレゼン資料における将来予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。なお、億円未満は切り捨てになっています。

CITIZEN

## 2020年度通期業績概要

---

## 2020年度通期実績

- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、大幅な減収減益
- 繰延税金資産の取り崩し及び構造改革実施等による特別損失計上により、251億円の当期純損失

## 2020年度第4四半期（1-3月期）実績

- 工作機械事業、デバイス事業が見通しを上回り、増収赤字縮小

## 2021年度通期業績予想

- 工作機械事業、時計事業が業績回復
- 売上高 2,600億円 （前年同期比 +533億円）  
営業利益 100億円 （前年同期比 +195億円）

## 2021年度配当金予想

- 年間配当 14.00円

# 2020年度通期連結業績概要

CITIZEN

(単位：億円)	2019年度 実績	2020年度 実績	前年同期比 増減額	2020年度 2/10予想
売上高	2,785	2,066	▲ 718	2,040
営業利益	61	▲ 95	▲ 156	▲ 105
営業利益率	2.2%	▲4.6%	-	▲5.1%
経常利益	75	▲ 41	▲ 116	▲ 65
親会社株主に帰属する当期純利益	▲ 166	▲ 251	▲ 85	▲ 300
為替レートの	¥109/USD ¥121/EUR	¥106/USD ¥123/EUR	-	¥106/USD ¥122/EUR

- 営業外収益：為替差益 8億円を計上
- 特別利益：27億円（投資有価証券売却益、固定資産売却益等）
- 特別損失：123億円（事業再編整理損、新型コロナウイルス感染症による損失、減損損失等）
- 繰延税金資産の取り崩しにより、法人税等調整額 107億円を計上

# 2020年度通期セグメント別業績推移

CITIZEN

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2019年度 実績	2020年度 実績	前年同期比 増減額	2020年度 2/10予想
■ 時計事業	1,416	956	▲ 459	955
■ 工作機械事業	585	467	▲ 118	455
■ デバイス事業	559	459	▲ 100	450
■ 電子機器他事業	224	183	▲ 40	180
合 計	2,785	2,066	▲ 718	2,040
営業利益				
■ 時計事業	39 (2.8%)	▲ 81 (▲8.6%)	▲ 121	▲ 80 (▲8.4%)
■ 工作機械事業	72 (12.4%)	29 (6.3%)	▲ 43	25 (5.5%)
■ デバイス事業	9 (1.7%)	▲ 4 (▲1.1%)	▲ 14	▲ 10 (▲2.2%)
■ 電子機器他事業	▲ 2 (▲1.0%)	3 (2.1%)	+ 6	2 (1.1%)
消去又は全社	▲ 57	▲ 41	+ 15	▲ 42
合 計	61 (2.2%)	▲ 95 (▲4.6%)	▲ 156	▲ 105 (▲5.1%)

## 4Q

### 完成品販売

- 海外市場：中国が好調継続。北米はEC販売が堅調。欧州は活動制限等により伸び悩み
- 国内市場：全体的な消費意欲の減退を受けながらも、新製品等が堅調に推移

### ムーブメント販売

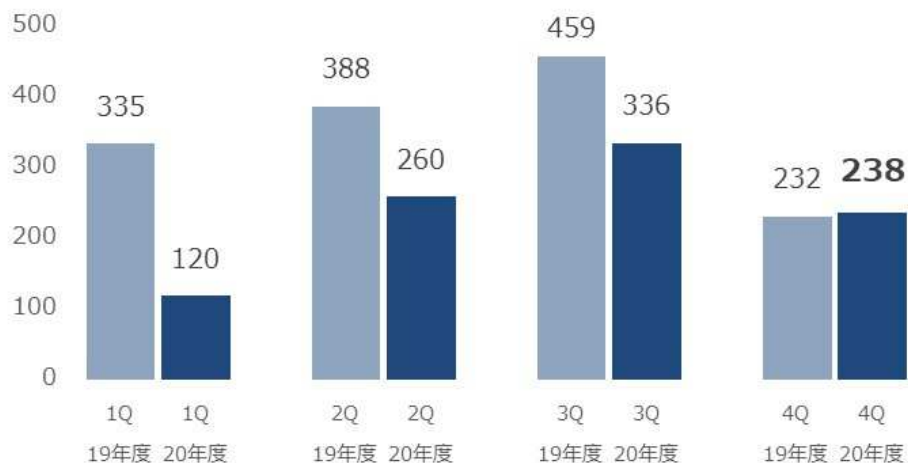
- 機械式ムーブメントが堅調。アナログクォーツも回復傾向で推移

## 通期

- 完成品は主力の国内・北米市場の落ち込みが大きく大幅減。ムーブメントは構造改革を実施

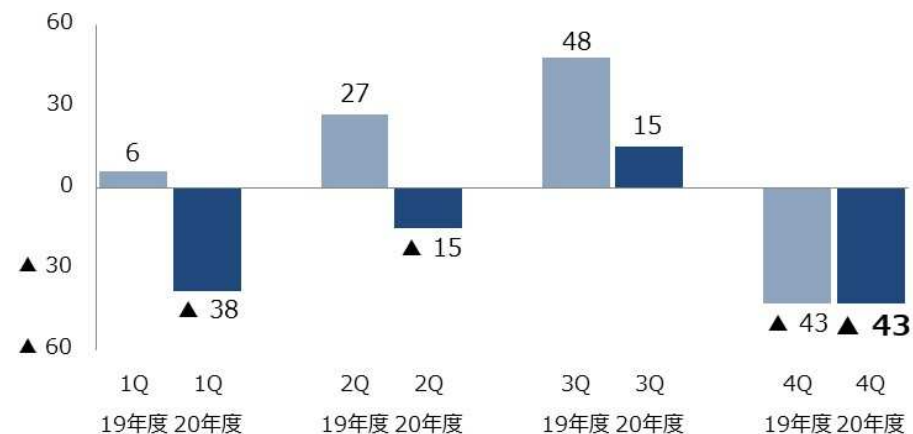
### 売上高

(億円)

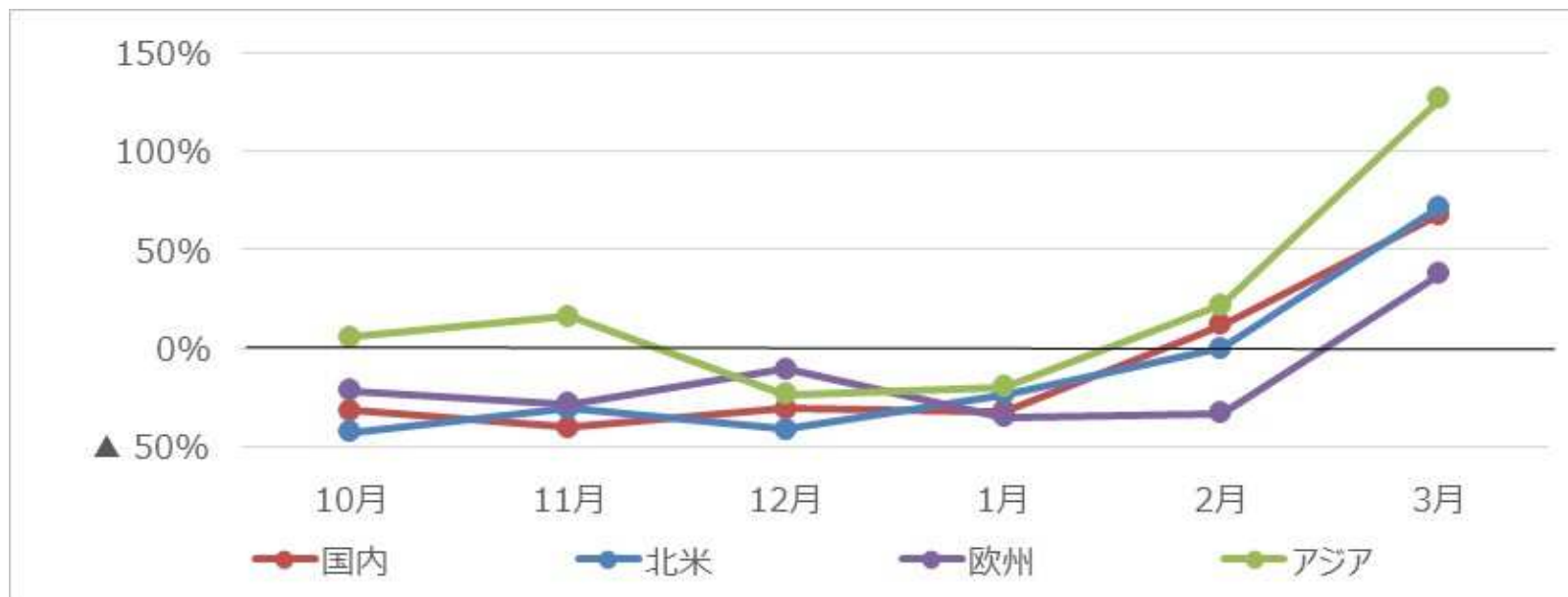


### 営業利益

(億円)



## ■ 前年同月比増減率(現地通貨ベース)



## ■ 前年同期比増減率(現地通貨ベース)

	4Q	
国内	+9%	新型コロナウイルスの感染再拡大を受けブレーキが掛かるも、内需は回復基調を維持。
北米	+1%	EC販売の好調が下支えとなり前年並みを維持。
欧州	▲20%	各地で店舗が休業となり苦戦。イタリア、スペインは都市封鎖のあった前年を上回る。
アジア	+22%	中国はEC販売の好調に加え実店舗も上向き。香港、台湾等他アジア地域も回復基調。

※ 北米のみCITIZENブランドとBULOVAブランドを合算した増減。その他の地域はCITIZENブランドのみの増減。

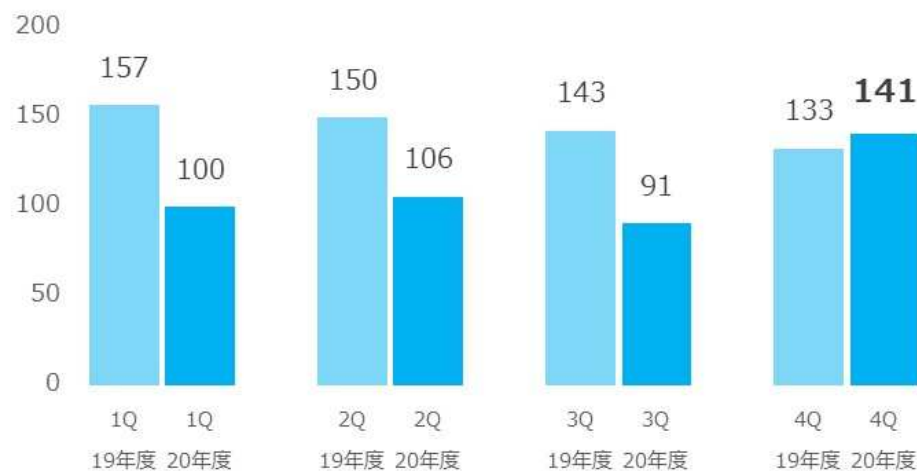
## 4Q

- 国内市場：設備投資への慎重姿勢から売上高は伸び悩むも、受注は回復傾向
- 海外市場：中国を中心にアジア地域が好調に推移。欧州、米州も上向き

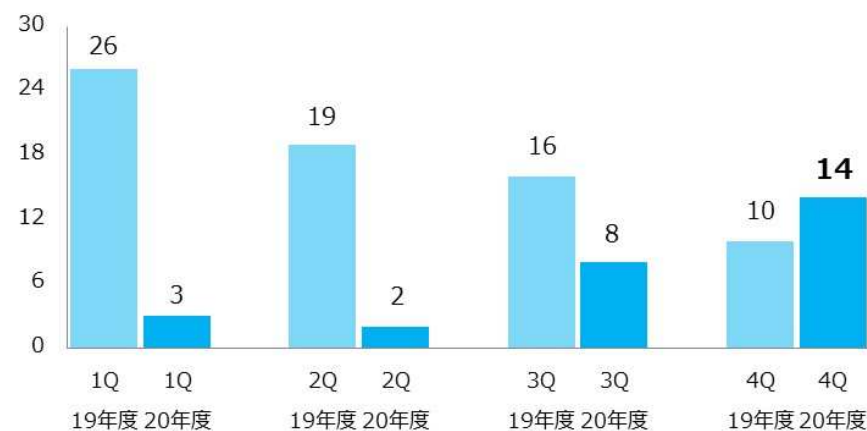
## 通期

- 上期の設備投資需要が低調に推移し減収減益となったが、中国を中心に海外市場が急回復

### 売上高 (億円)

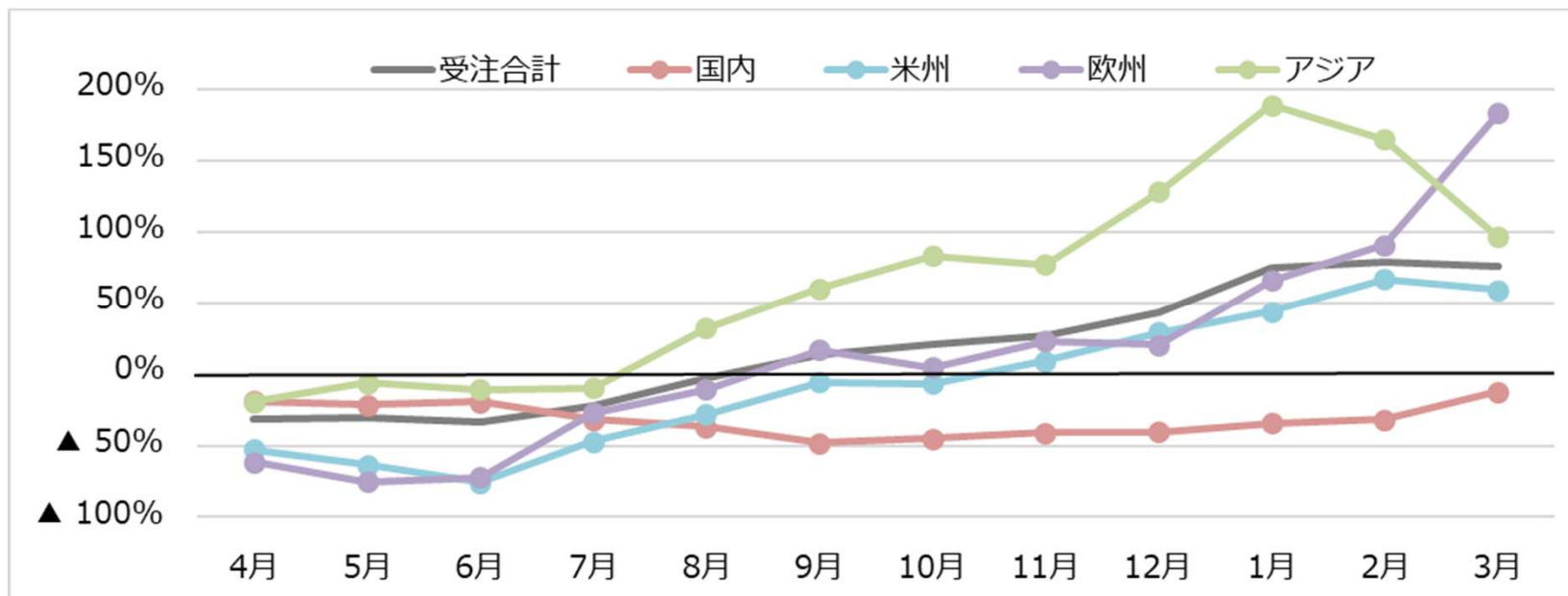


### 営業利益 (億円)





## ■ 前年同月比増減率(3カ月移動平均受注台数)



## ■ 前年同期比増減率(四半期受注台数)

	4Q	
● 受注合計	+76%	
● 国内	▲12%	設備投資の様子見姿勢から回復は弱いものの、徐々に上向き傾向。
● 米州	+59%	医療関連を中心に受注が急回復。ジョブショップからの受注も大幅増。
● 欧州	+183%	自動車関連が大幅増。機械設備等のその他の業種も好調に推移。
● アジア	+97%	延期されていた設備導入が再開されるなど回復基調。中国も好調を維持。

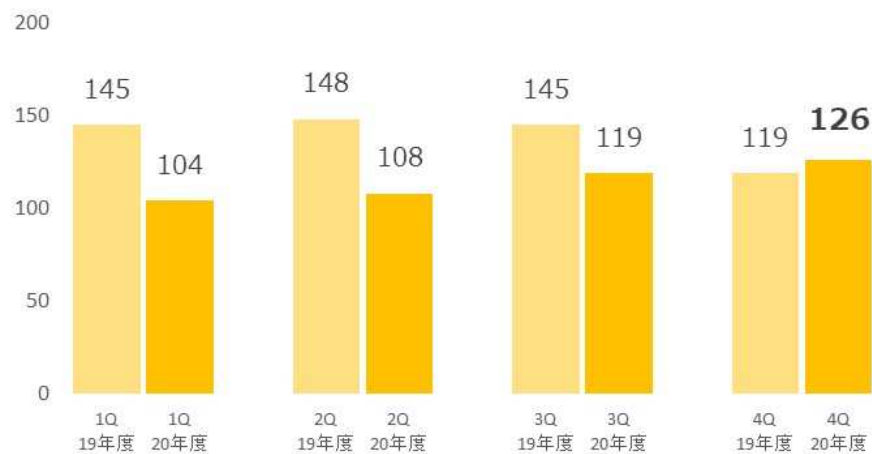
## 4Q

- 精密加工部品：新車販売台数の増加に伴い自動車部品が伸長。スイッチも回復傾向
- オプトデバイス：照明用LEDも受注は復調。車載向けLED等が売上に寄与

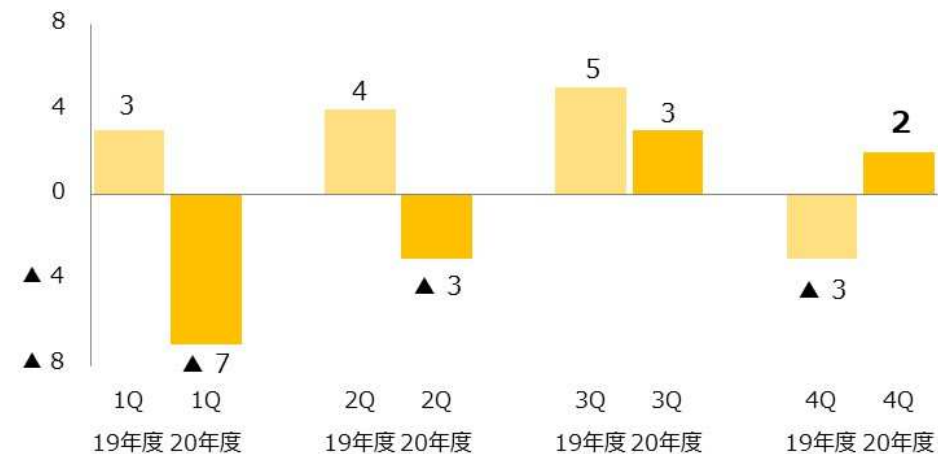
## 通期

- 精密加工部品が下期以降堅調に推移したものの、オプトデバイスは照明用LEDが低迷

### 売上高 (億円)



### 営業利益 (億円)



# 2021年度通期連結業績予想

CITIZEN

(単位：億円)	2020年度 実績	2021年度 予想	前年同期比	
			増減率	増減額
売上高	2,066	2,600	+25.8%	+534
営業利益	▲ 95	100	-	+195
営業利益率	▲4.6%	3.8%	-	-
経常利益	▲ 41	110	-	+151
親会社株主に帰属する当期純利益	▲ 251	90	-	+341
為替レートの	¥106/USD ¥123/EUR	¥105/USD ¥125/EUR	-	-

# 2021年度通期セグメント別業績予想

CITIZEN

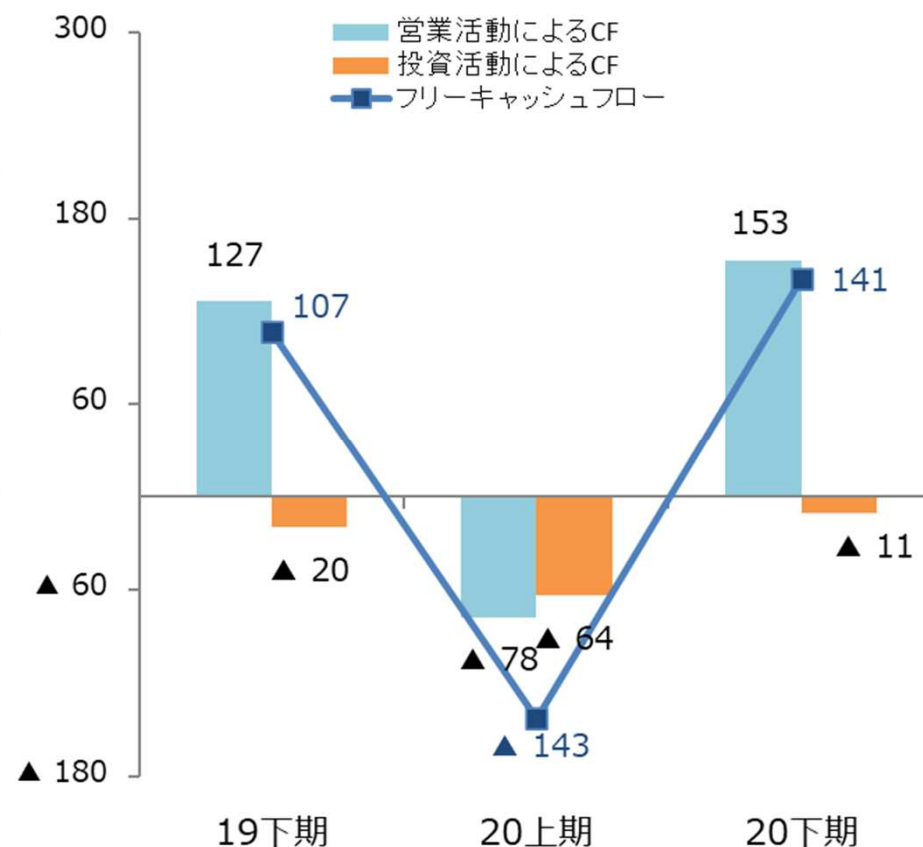
(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2020年度 実績	2021年度 予想	前年同期比	
			増減率	増減額
■ 時計事業	956	1,240	29.7%	284
■ 工作機械事業	467	670	43.4%	203
■ デバイス事業	459	510	11.1%	51
■ 電子機器他事業	183	180	▲2.1%	▲3
合計	2,066	2,600	25.8%	534
営業利益				
■ 時計事業	▲81 (▲8.6%)	40 (3.2%)	-	121
■ 工作機械事業	29 (6.3%)	90 (13.4%)	206.6%	61
■ デバイス事業	▲4 (▲1.1%)	15 (2.9%)	-	19
■ 電子機器他事業	3 (2.1%)	5 (2.8%)	26.8%	2
消去又は全社	▲41	▲50	-	▲9
合計	▲95 (▲4.6%)	100 (3.8%)	-	195

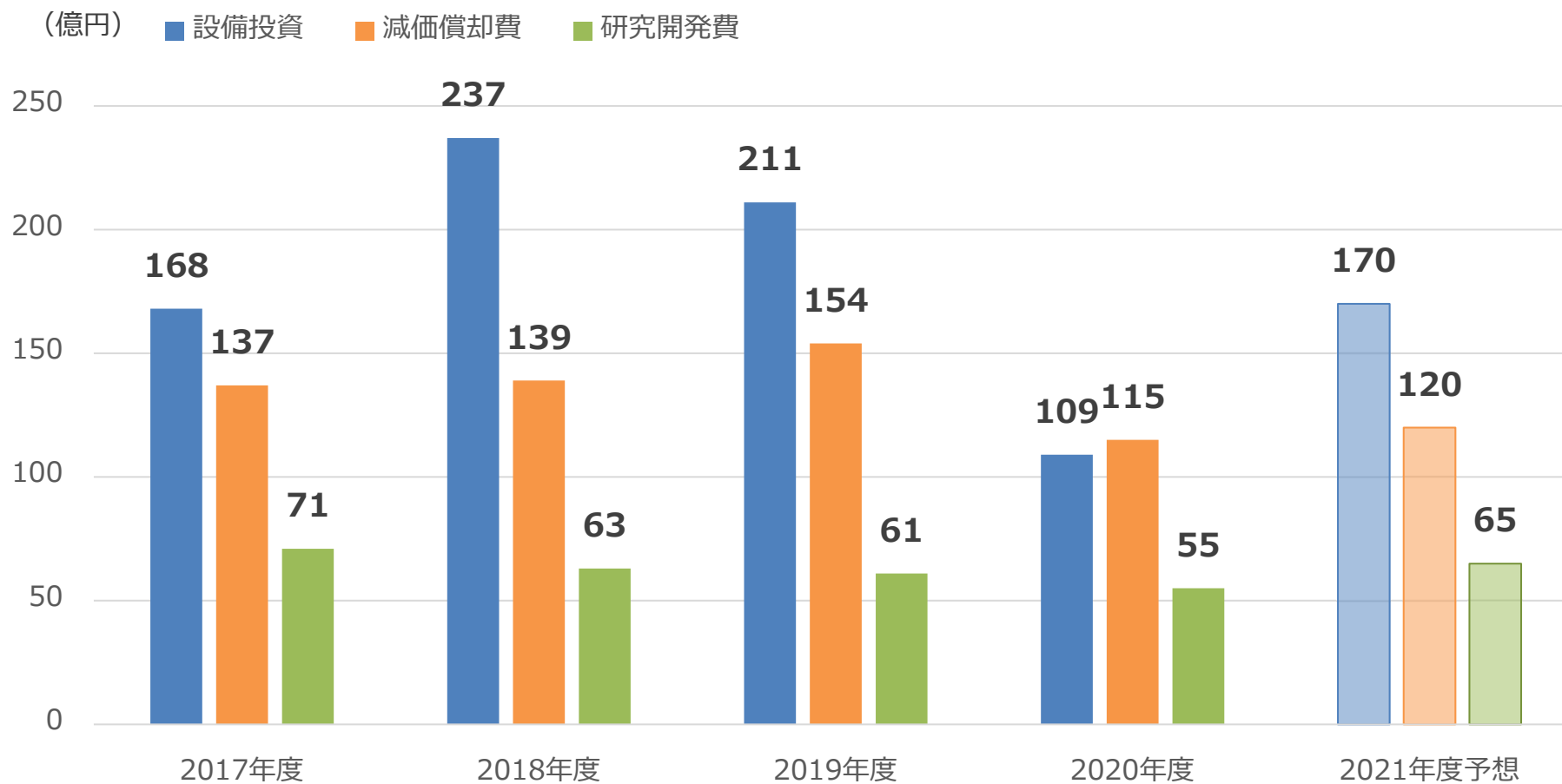
# キャッシュフロー計算書

CITIZEN

	20上期	20下期	前年 同期比 増減額
(単位：億円)			
営業活動によるCF	▲ 78	153	+232
投資活動によるCF	▲ 64	▲ 11	+52
フリーキャッシュフロー	▲ 143	141	+284
財務活動によるCF	333	▲ 150	▲ 484
現金及び現金 同等物残高	976	995	+19



- 営業活動によるCF：収益性の改善及び時計事業を中心とした在庫削減により増加
- 投資活動によるCF：政策保有株式や固定資産の売却により支出減少



- 設備投資：  
時計事業は優先度と重要度の高い案件に絞り込み  
工作機械事業、デバイス事業、電子機器他事業は通常並みの投資を実施

	中期経営計画 (2021年度)	業績予想 (2021年度)
売上高	3,700億円	2,600億円
営業利益	300億円	100億円
ROE	8.0%	4.0%

※ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本

- 新型コロナウイルスの影響により中期経営計画で想定していた市場環境からは大きく変化しており、特に時計事業の市場環境は悪化
  - ・世界的な実店舗の営業短縮、閉鎖
  - ・国内におけるインバウンド需要の消滅
- 2021年度、時計事業の市場環境は徐々に回復に向かっているものの、新型コロナウイルスの影響は続く見通しであり、中期経営計画で掲げた売上高、営業利益、ROEは目標を下回る見通し

## EC販売の強化

- 米国：EC比率が増加し、直販EC販売も拡大
- 国内：直販EC販売、AIウオッチレコメンドサービス、FTSサービスを開始
- 中国：主要EC商戦向け商品を強化し、販売は前年比増。越境ECも堅調に推移

## ムーブメント事業の再構築

- アナログクォーツムーブメントの需要減少に伴い生産規模の適正化を実施
- 機械式ムーブメントの生産合理化・自動化推進によるコスト削減を実施

## 機械式時計の中長期的な拡充

- スイスのラ・ジュール・ペレ社の技術を活かした機械式新ムーブメントを開発
- 新ムーブメントを搭載した「The CITIZEN」のグローバルローンチ
- 機械式新ブランド「Series 8」のグローバルローンチ





## オンラインを活用した取り組み

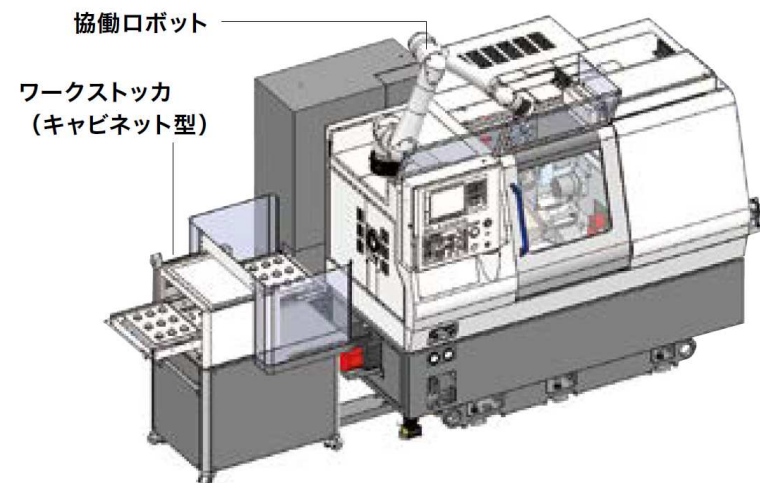
- 国内外でオンラインプライベートショーを開催し、新製品や加工技術等を紹介
- オンラインを活用した稼働監視システム支援、プログラミング教育を実施

## 中国の生産能力強化

- 中国市場の需要拡大に伴う生産能力増強のため、2021年夏に中国新工場へ移転・拡張予定

## 製品のさらなる自動化・省力化

- 協業ロボット(FAフレンドリー)システムを導入した製品を開発
- 効率的かつスピーディーに複雑加工ができる自動工具交換装置(ATC)機能を独自開発  
(日刊工業新聞社 機械工業デザイン賞IDEAを受賞)



**CITIZEN**

## 貸借対照表

CITIZEN

(単位：億円)	2020年 3月末	2021年 3月末	前年度 末比 増減額	(単位：億円)	2020年 3月末	2021年 3月末	前年度 末比 増減額
流動資産	2,356	2,444	+87	負債	1,387	1,529	+141
現金及び 預金	801	1,018	+216	有利子 負債	551	748	+197 ②
① 棚卸資産	1,011	902	▲ 109				
固定資産	1,339	1,213	▲ 125	純資産	2,307	2,128	▲ 179
有形固定 資産	785	759	▲ 25	株主資本	2,201	1,937	▲ 264
投資有価証券	334	333	▲ 1	為替換算調整勘定	▲ 10	48	+59
資産合計	3,695	3,658	▲ 37	負債・純資産 合計	3,695	3,658	▲ 37

① 時計事業、工作機械事業を中心とした棚卸資産の減少

② 長期借入に伴う有利子負債の増加

(単位：億円)	4Q 2019年度実績	4Q 2020年度実績	前年同期比 増減額	4Q 2/10予想
売上高	535	555	+19	528
営業利益	▲ 50	▲ 34	+16	▲ 44
営業利益率	▲9.5%	▲6.3%	-	▲8.4%
経常利益	▲ 48	▲ 14	+33	▲ 38
親会社株主に帰属する当期純利益	▲ 236	▲ 32	+204	▲ 80
為替レートの	¥109/USD ¥120/EUR	¥104/USD ¥127/EUR		¥105/USD ¥125/EUR

## 2020年度第4四半期（1-3月期）セグメント別業績推移

(単位：億円 / %：営業利益率)

	4Q 2019年度実績	4Q 2020年度実績	前年同期比 増減額	4Q 2/10予想
売上高				
■ 時計事業	232	238	+5	237
■ 工作機械事業	133	141	+8	129
■ デバイス事業	119	126	+6	117
■ 電子機器他事業	49	47	▲ 1	44
合計	535	555	+19	528
営業利益				
■ 時計事業	▲ 43 (▲18.7%)	▲ 43 (▲18.3%)	+0	▲ 41 (▲17.6%)
■ 工作機械事業	10 (7.8%)	14 (10.2%)	+4	10 (7.8%)
■ デバイス事業	▲ 3 (▲3.0%)	2 (2.1%)	+6	▲ 2 (▲2.1%)
■ 電子機器他事業	▲ 2 (▲4.6%)	2 (5.1%)	+4	0 (1.1%)
消去又は全社	▲ 11	▲ 10	+0	▲ 10
合計	▲ 50 (▲9.5%)	▲ 34 (▲6.3%)	+16	▲ 44 (▲8.4%)